

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和元年 8月16日  
18時53分17秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02353 資金等調達管理事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 徳田 晴美  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	034	資金等調達管理事務		
事業期間	昭和42年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地方財政法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・資金管理運用事務 ・企業債管理事務			

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	既企業債について償還予定に従って償還するとともに、繰上償還についても検討します。 新たな企業債による資金調達について検討します。 資金を適切かつ確実に管理するとともに、余剰資金の効率的な運用を目指します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	181,597	158,197	120,840
事業費	180,967	157,567	120,210
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	180,967	157,567	120,210
一般財源	0	0	0
人件費計	630	630	630
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	企業債の償還（元金15,294千円、利子28,019千円） 余剰資金を定期預金として運用	企業債の償還（元金13,610千円、利子21,457千円） 余剰資金を定期預金と有価証券により運用	企業債の償還（元金10,406千円、利子16,147千円） 余剰資金を定期預金等により運用

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02353 資金等調達管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		理由 水道事業は水道法に基づく事業で、他団体では行っていません。	
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
		理由 水道事業における事業費の確保は必須です。	
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
		理由 効率性	
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		理由 公平性	
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
		理由 運用額や運用先の決定にあたっては適正に行われています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	預入先及び利率の決定については、入札にて最も条件のよいものを選定しました。また、今後も定期預金は低金利で推移することが予測されるため、リスクの少ない有価証券による運用についても検討し、運用益の確保を目指します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02354 広報事業

所属長名 大岡 久芳  
担当者 徳田 晴美  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目(施策)	002	4都市基盤(住環境)		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	033	広報事業		
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・広報事業 ・節水PR事業			

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道事業の運営に関する各種データや各種統計データをHP等により公表します。 水道週間には水道事業に関する記事を市広報に掲載します。 節水時にはHPの活用や横断幕の設置などにより、市民に節水への協力を呼びかけます。

## 【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	630	630	630
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	630	630	630
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業の運営データをHPに掲載</li> <li>水道年報の作成公表</li> <li>水道週間に水道事業に関する特集を市広報に掲載</li> <li>節水時には、HPや横断幕の設置などにより節水への協力を呼びかけます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業の運営データをHPに掲載</li> <li>水道年報の作成公表</li> <li>水道週間に水道事業に関する記事を市広報に掲載</li> <li>節水時には、HPや横断幕の設置などにより節水への協力を呼びかけます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業の運営データをHPに掲載</li> <li>水道年報の作成公表</li> <li>水道週間に水道事業に関する記事を市広報に掲載</li> <li>節水時には、HPや横断幕の設置などにより節水への協力を呼びかけます</li> </ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02354 広報事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づく事業で、他団体では行っていません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道は最も重要なライフラインであり、情報の提供は重要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	提供する情報はグラフや図を活用してわかりやすくしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	提供されている情報は他事業体と比べて適当なものです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道事業の事業活動や経営状況に関して「水道年報」を作成するとともに、主要な経営状況等をグラフ化してHPにて公表します。 また、水道週間には市広報に水道記事を掲載し、水道事業に関する啓発を行います。 渇水時には、HPや横断幕などにより、節水への協力を呼びかけます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
令和元年 8月16日  
18時53分17秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02355 消費税申告事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 徳田 晴美  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	032	消費税申告事務			
事業期間	昭和63年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	当該年度における消費税額の算定及び確定させます。 確定した消費税を適正に確定申告し、納付します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	59,362	4,733	50,315
事業費	59,047	4,418	50,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	59,047	4,418	50,000
一般財源	0	0	0
人件費計	315	315	315
正規（人）	0.05	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	消費税支払額の算出及び確定 確定申告の実施	消費税支払額の算出及び確定 確定申告の実施	消費税支払額の算出及び確定 確定申告の実施

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02355 消費税申告事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間と同様に事業活動に伴う法に定められた消費税事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な事務事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	会計システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた事務事業であり適正行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	消費税法に定められた事務事業であり、会計システムも導入され事務の効率化が図られています。仮払消費税額を遅延なく納付するとともに、年度終了後速やかに消費税額を算定・確定し、正確な確定申告に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和元年 8月16日  
18時53分17秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02356 貯蔵品管理事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 徳田 晴美  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	031	貯蔵品管理事務		
事業期間	昭和42年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道事業が保管・管理する貯蔵品について出庫及び入庫を適正に管理します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	29,436	22,041	50,630
事業費	28,806	21,411	50,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	28,806	21,411	50,000
一般財源	0	0	0
人件費計	630	630	630
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	購入した貯蔵品をシステムに入力 出庫した貯蔵品をシステムに入力 定期的なたな卸しを実施し、貯蔵品の在庫状況を確認	購入した貯蔵品をシステムに入力 出庫した貯蔵品をシステムに入力 定期的なたな卸しを実施し、貯蔵品の在庫状況を確認 貯蔵品を見直し、在庫管理の適正化を図りました	購入した貯蔵品をシステムに入力 出庫した貯蔵品をシステムに入力 定期的なたな卸しを実施し、貯蔵品の在庫状況を確認 貯蔵品を見直し、在庫管理の適正化を図ります

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02356 貯蔵品管理事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	貯蔵品については民間等でも同様に管理されています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	貯蔵品を適正に管理することで無駄な費用を削減できます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的にたな卸作業を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業体でも同様に貯蔵品の管理が適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道施設における漏水事故等に備え、必要な資材の保管管理に努めます。なお、保管資材の選定と資材毎に必要な数を見直し、適正な保管管理を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

9頁  
令和元年 8月16日  
18時53分17秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02357 水道事業会計出資事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 徳田 晴美  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	030	水道事業会計出資事務			
事業期間	昭和42年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	一般会計からの委託事業等に要した経費を算出します。 算出された出資金を一般会計に請求します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	137,206	175,072	205,353
事業費	136,891	174,757	205,038
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	136,891	174,757	205,038
一般財源	0	0	0
人件費計	315	315	315
正規（人）	0.05	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	一般会計からの出資金 の算定及び請求	一般会計からの出資金 の算定及び請求	一般会計からの出資金 の算定及び請求

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501010 水道業務課経営係  
事務事業 02357 水道事業会計出資事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		理由 水道事業は水道法に基づいており、他の団体ではできません。	
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
		理由 水道は人が生活していく上で最も重要なライフラインです。	
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
		理由 関係部署とは調整を図っています。	
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		理由 関係部署とは調整を図っています。	
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
		理由 他の水道事業体でも一般会計に出資金を請求しています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一般会計からの委託事業等の選定にあたっては、関係各課との調整を図り、必要な予算の確保が必要となります。また、事業に要した経費については正確に算出し、その額を速やかに請求します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

1 頁  
令和元年 8月16日  
18時54分31秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02359 水道開閉栓事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 宮崎 伸  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目(施策)	002	4都市基盤(住環境)			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	029	水道開閉栓事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	電話・FAX・窓口にて水道使用の申込みや使用中の届出を受け付け、指定期日までに確実かつ適切に開閉栓作業を行います。

## 【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	36,262	42,448	42,986
事業費	2,242	2,128	2,666
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,242	2,128	2,666
一般財源	0	0	0
人件費計	34,020	40,320	40,320
正規(人)	5.40	6.40	6.40
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	開栓 6,037件 閉栓 5,983件 名義変更 2,923件	開栓 5,410件 閉栓 5,477件 名義変更 2,989件	開栓 5,500件 閉栓 5,500件 名義変更 3,000件

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和元年 8月16日  
18時54分31秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02359 水道開閉栓事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		理由 民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。	
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
		理由 法に定められた義務的な管理事務となります。	
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
		理由 	
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		理由 新システムが導入され、事務の効率化が図られています。	
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
		理由 法に定められた義務的な事業であり、適正に行われています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 開閉栓の依頼に対し、正確に業務を実施します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和元年 8月16日  
18時54分31秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02360 水道業務課業務事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 宮崎 伸  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	028	水道業務課業務事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道料金システムにより、一括処理を効率的に行います。 システムが安全に作動するよう保守契約を締結し、定期的なメンテナンスを実施します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	16,399	18,225	19,408
事業費	13,249	15,075	16,258
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	13,249	15,075	16,258
一般財源	0	0	0
人件費計	3,150	3,150	3,150
正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	定時調定 随時調停 納入通知書作成等 各12回  保守委託契約 年 1回	定時調定 随時調停 納入通知書作成等 各12回  保守委託契約 年 1回	定時調定 随時調停 納入通知書作成等 各12回  保守委託契約 年 1回

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02360 水道業務課業務事務

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的な事業であり、適正に行われています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 新料金システムを活用し、調定誤りを事前修正し、正確な処理を実施します。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
令和元年 8月16日  
18時54分31秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02361 水道料金収納管理事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 宮崎 伸  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	027	水道料金収納管理事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安心・安全な水道水を安定して届けるために水道料金を収納します。 納入者の利便性、収納事務の効率のため、口座振替を推進します。 料金の未納者には給水停止を実施します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	18,146	22,241	22,647
事業費	7,751	8,066	8,472
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	7,751	8,066	8,472
一般財源	0	0	0
人件費計	10,395	14,175	14,175
正規（人）	1.65	2.25	2.25
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	口座振替率 81% 滞納者訪問件数 468件 給水停止件数 225件	口座振替率 81% 滞納者訪問件数 1002件 給水停止件数 241件 開栓時に口座振替申込 書を配布	口座振替率 81% 滞納者訪問件数 1000件 給水停止件数 240件 開栓時に口座振替申込 書を配布

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02361 水道料金収納管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的な事業であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	滞納者に係る給水停止においては、訪問などの事前交渉を丁寧に行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和元年 8月16日  
18時54分31秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02362 水道料金賦課事務

所属長名 大岡 久芳  
担当者 宮崎 伸  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	026	水道料金賦課事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	2ヶ月に1度、水道メーターを検針して使用水量をお知らせするとともに、その水量に基づき水道料金を正確に算定します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	29,667	29,849	38,219
事業費	25,257	25,439	33,809
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	25,257	25,439	33,809
一般財源	0	0	0
人件費計	4,410	4,410	4,410
正規（人）	0.70	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	検針件数 379,150件	検針件数 388,983件	検針件数 390,000件

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02362 水道料金賦課事務

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的事业であり、適正に行われています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道メーターを正確に検針し、間違いのない料金賦課に努めます。検針の際に漏水を発見した場合には、適切な対応をします。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

9頁  
令和元年 8月16日  
18時54分32秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02363 量水器取替事業

所属長名 大岡 久芳  
担当者 宮崎 伸  
電話番号 0566-71-2249

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	025	量水器取替事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	計量法に基づく有効期間内（8年）に、水道メーターを取替えます。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	18,226	19,021	21,382
事業費	15,391	16,186	18,547
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	15,391	16,186	18,547
一般財源	0	0	0
人件費計	2,835	2,835	2,835
正規（人）	0.45	0.45	0.45
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	取替個数 業者委託分 8,200個 職員取替分 190個	取替個数 業者委託分 7,900個 職員取替分 340個	取替個数 業者委託分 8,500個 職員取替分 310個

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001501020 水道業務課料金係  
事務事業 02363 量水器取替事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的な事業であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道メーターが故障する前に取り換えるという法の命題を理解し、忠実に交換を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。